

<p style="text-align: center;">国語 I (Japanese I)</p>	<p style="text-align: center;">1年・通年・3単位・必修 5学科共通 現代文担当 刀田 絵美子 古典担当 鍵本 有理</p>	
<p style="text-align: center;">〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標〕 (3)</p>		
<p>〔講義の目的〕 中学校での学習内容を踏まえ、受講生一人一人の日本語運用能力を総合的に高めることが授業の目的である。そもそも、日本語を「運用」する上で必要な力とはどのようなものか。語彙力、表現力、論理性、説得力…など、情報を「伝える」ためには様々な力が必要である。また、相手から情報を「受け取る（読み取る・聞き取る）」ためには、理解力や共感力などの力も必要になる。さらに、自分が受け取った情報の真偽を確かめるために、それを自分の言葉で発信することも必要である。これらを通して言葉の力を高めてほしい。</p>		
<p>〔講義の概要〕 高等学校第1学年に相当する学力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用し、様々な文章を読んだり、議論をしたりすることを通して、多様なものの見方・考えに触れる。自分が感じたり、考えたりしたことを口頭や文章によって表現する機会、クラスメイトの意見や考えに触れ、検討や議論を通して自分の考えを深める機会をもつ。週3時間のうち、2時間を現代文、1時間を古典（古文・漢文）の時間に当てる。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 現代文・古典ともに授業前に教科書を読み、意味調べを行うこと。ノートは定期的に提出する機会を設ける。ディベートや作文・話し合いの時間が有効に使えるよう、問題意識を持って新聞や本を読んだり、自分や自分の身の回りの世界に目を向けたりしてほしい。 古典については毎時間、予習をすること。教科書の本文を写し、大事な注なども写しておく。そして、意味がわからないと思ったら授業で集中して聞くようにするとよい。</p>		
<p>〔到達目標〕 前期中間試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 文章を主体的に読解できる。3) 古文を正確に音読できる。4) 古文の内容を現代語でまとめたり表現したりすることができる。 前期末試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 文章の主題をつかむことができる。3) テーマに応じた意見文が作成できる。4) 古典文法の知識を身につける。5) 漢文訓読の知識を身につける。 後期中間試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 論理的な文章の構成がつかめる。3) 古文のテキストの意味を読み取り、説明することができる。4) 漢詩の基礎知識を身につける。5) 漢文の内容を理解し、中国思想についての基礎知識を身につける。 学年末試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 文章の論理展開をつかむことができる。3) 歌物語の特徴を味わい、内容を読みとることができる。4) 登場人物の心情を説明できる。</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験成績（60%）を基本とし、漢字テスト（10%）、提出物（ノート・課題）の状況（15%）、授業態度（音読・発表への取り組み姿勢 15%）を加えて総合的に評価を行う。</p>		
<p>〔教科書〕 第一学習社『高等学校 国語総合』 〔補助教材・参考書〕 「新国語便覧（新版二訂）」、「新版高校漢字必携」、「完全マスター古典文法準拠ノート〈実力養成〉」（以上全て第一学習社）、その他補助プリント 国語辞典を一冊準備しておくこと（電子辞書でもよい）。</p>		
<p>〔関連科目〕 日本語運用能力は、人文科学や社会科学系ばかりでなく、自然科学系科目の基礎でもある。</p>		

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第1週	ガイダンス	授業の目的や進め方を理解する。自己紹介スピーチを行う。 ノートの取り方を確認する。古典の表記について理解する。	
第2週	評論1-①・ガイダンス 古文入門	岡本太郎「絵はすべての人の創るもの」の全体を捉える。図書館ガイダンス 「児のそら寝」を読み、古典の文体に親しむ。	
第3週	評論1-② 説話	岡本太郎「絵はすべての人の創るもの」を読み、「創造」について考える。 『宇治拾遺物語』の説話「得仏師良秀」の内容を読みとり、テーマを理解する。	
第4週	小説1-③ 物語を楽しむ	芥川龍之介「羅生門」の構造を理解する。作者について知る。 「竹取物語」の「かぐや姫のおひたち」を読む。文学史的な知識を身につける。	
第5週	小説1-① 物語を楽しむ	芥川龍之介「羅生門」を読み、主人公の状況、表現から読み取れる心情を考える。 「竹取物語」の「かぐや姫のおひたち」について、内容を読み取る。	
第6週	小説1-② 物語を楽しむ	芥川龍之介「羅生門」を読み、登場人物の「論理」を考える。 「かぐや姫の嘆き」を読み、主人公の心情を読みとる。	
第7週	小説1-③ 物語を楽しむ	芥川龍之介「羅生門」の主題を考える。 「かぐや姫の嘆き」を読み、「竹取物語」の主題をまとめる。	
第8週	試験返却・評論2-① 古典文法①	中間試験返却・榊島忠夫「語と意味」の全体を捉える。 古典文法の知識を身につける（品詞など）。	
第9週	評論2-② 古典文法①	榊島忠夫「語と意味」を読み、言葉のワクについて考える。 古典文法の知識を身につける（動詞の活用など）。	
第10週	評論2-③・言語活動1-① 古典文法①	榊島忠夫「語と意味」の主題を考える。・ディベートを行うために準備する。 古典文法の知識を身につける（形容詞・形容動詞の活用など）。	
第11週	言語活動1-② 古典文法①	あるテーマについて肯定側と否定側に分かれてディベートする。 古典文法の知識を身につける（助動詞の活用など）。	
第12週	言語活動1-③ 古典文法①	あるテーマについて肯定側と否定側に分かれてディベートする。 古典文法の知識を身につける（助動詞、注意すべき表現など）。	
第13週	小説2-① 漢文入門①訓読の基本	角田光代「旅する本」の構造を理解する。 漢文訓読の基本的な知識について確認する。	
第14週	小説2-② 漢文入門②再読文字・置き字	角田光代「旅する本」を読み、状況の変化と「私」の心情の変化を確認する。 漢文の格言を読み、漢文の訓読に慣れる。	
第15週	言語事項 漢文入門③故事成語	漢字テスト（夏休み課題）・学習の振り返り 故事成語の由来を読み、おもしろさを理解する。	
前期期末試験			
第16週	試験返却・評論3-① 随筆を読む	期末試験返却・志村史夫「科学の限界」の全体を捉える。 「徒然草」の序段を読み、文学史的な知識を身につける。	
第17週	評論3-② 随筆を読む	志村史夫「科学の限界」の構造を考え、前半の論理展開を確認する。 「徒然草」九十二段を読み、テーマを理解する。	
第18週	評論3-③ 随筆を読む	志村史夫「科学の限界」の構造を考え、後半の論理展開を確認する。 「徒然草」二百三十六段を読み、状況を読み取る。	
第19週	評論3-④ 随筆を読む	志村史夫「科学の限界」における筆者の主張をまとめる。 「徒然草」二百三十六段を読み、この随筆のおもしろさを味わう。	
第20週	言語活動3 随筆を読む	工場見学先に礼状を書くことを通して、手紙の形式や用語を身につける。 「徒然草」についてのまとめを行う	
第21週	小説3-① 漢詩の鑑賞	志賀直哉「城の崎にて」の構造を理解する。作者について知る。 「江南春」「春暁」を読み、漢詩の知識を身につける。	
第22週	小説3-② 漢詩の鑑賞	志賀直哉「城の崎にて」を読み、語り手の状況・心情を表現から読み取る。 「江雪」「春望」を読み、それぞれの詩に込められた思いを読みとる。	
第23週	小説3-③ 中国の思想	志賀直哉「城の崎にて」を読み、語り手の「死」のとらえ方をまとめる。 『論語』を読み、孔子の思想について理解する。	
第24週	小説3-④ 中国の思想	志賀直哉「城の崎にて」の主題を考える。 『論語』を読み、孔子の思想について理解する。	
第25週	試験返却・詩歌① 物語を楽しむ	中間試験返却・中原中也「一つのメルヘン」を読み、表現について考察する。 「伊勢物語」の文学史的な知識を身につける。	
第26週	詩歌② 物語を楽しむ	短歌「その子二十」を読み、短歌の表現について考察する。 「芥川」の章段を読み、内容を理解する。	
第27週	言語事項・詩歌③ 物語を楽しむ	漢字テスト・俳句「こころの帆」を読み、俳句の表現について考察する。 「芥川」の章段を読み、登場人物の心情を読みとる。	
第28週	評論4-① 物語を楽しむ	上田紀行「グローバリズムの「遠近感」」の全体を捉える。 「筒井筒」の章段を読み、当時の婚姻や習慣について学ぶ。	
第29週	評論4-② 物語を楽しむ	上田紀行「グローバリズムの「遠近感」」の構造から筆者の論理展開を考える。 「筒井筒」の章段を読み、登場人物の心情を読みとる。	
第30週	評論4-③ 物語を楽しむ	上田紀行「グローバリズムの「遠近感」」の主題を考える。 「筒井筒」の章段を読み、当時の人々の生活について理解し、心情を読みとる。	
学年末試験			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)